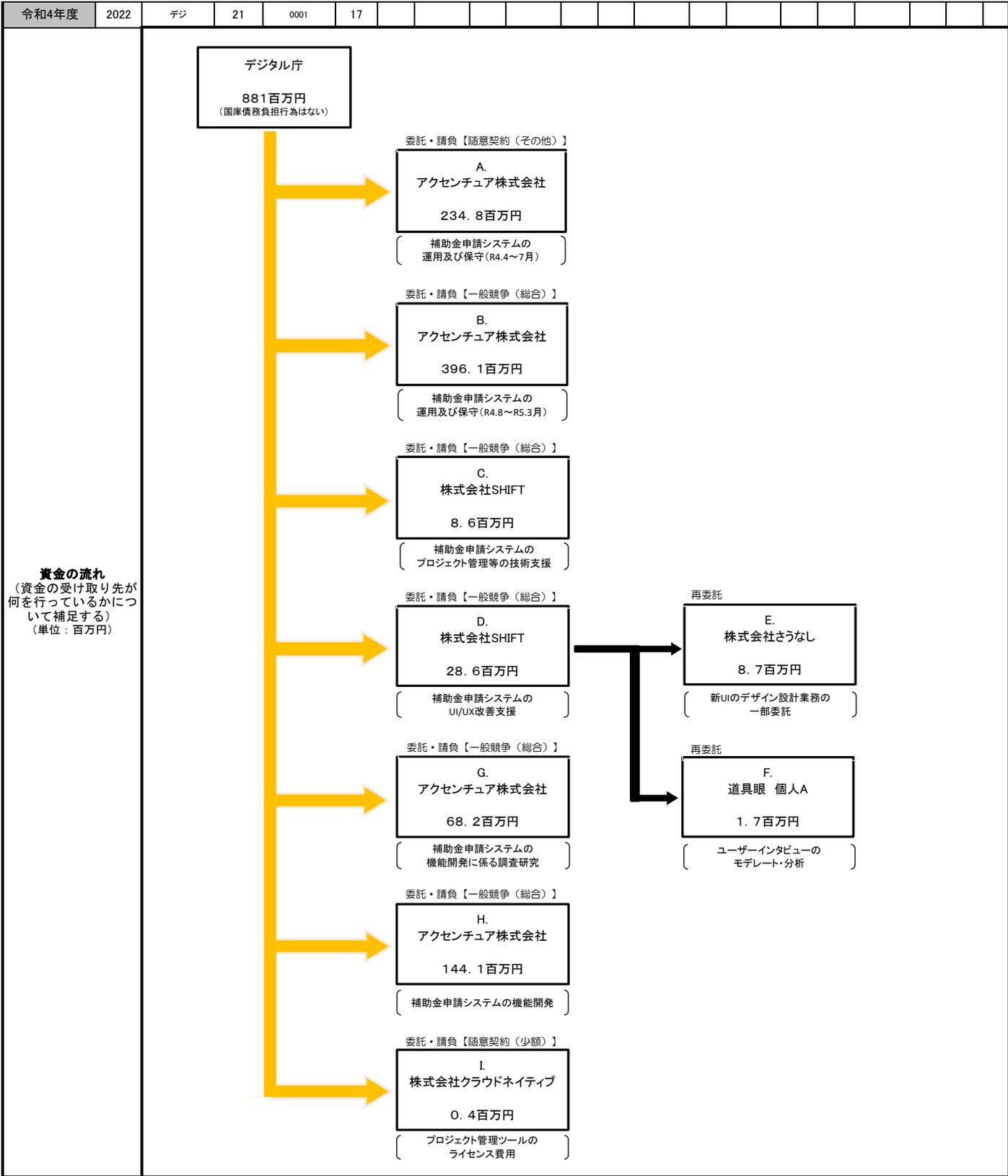


令和5年度行政事業レビューシート (デジタル庁)

事業名	補助金申請システム			担当部局庁	国民向けサービスグループ	作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	JGrants担当	参事官 宮西 健至	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律(平成14年12月13日法律第151号) デジタル社会形成基本法(第31条、第32条及び第37条第2項:令和3年5月19日法律第35法)			関係する 計画、通知等	統合イノベーション戦略(令和2年7月17日閣議決定) 世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(令和2年7月17日閣議決定) デジタル・ガバメント実行計画(令和2年12月25日閣議決定) 成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定)		
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	補助金適正化法で定められた手続きに基づき、法人共通認証基盤(GPzID)を活用し、申請に係る一連の手続(公募、交付申請、交付決定、精算等)の全プロセスを電子化し、申請者のワンストップ・ワンスオンリー及び行政の審査・処理手続きの効率化を図るため、汎用的な補助金申請システム(jGrants)の運用を進める。						
現状・課題 (5行程度以内)	<p>行政が行う補助金の申請は、その多くが事業者等にとって煩雑な手続きとなっている。補助金によっては異なる申請システムが運用されているケース等もあるため、これらを標準化し、事業者の申請手続きの簡便化及び事務局の業務効率化を図ることが求められている。補助金事務局にjGrantsを利用してもらうことで、①電子化による郵送、来訪コストの削減、②集約による個別補助金システム開発費用の削減等の効果が得られる(※1)。</p> <p>他方で、jGrantsの現行アーキテクチャでは申請数等の上限などシステム性能に限度があるため、今後見込まれる補助金数の増加や他の金融支援系の利用拡大を鑑みて、性能問題の解消を図る、システムのランニングコストの低減を図ることも必要になってくる。</p> <p>※1)個別補助金システム開発費用に関連して、「令和2年度持続化給付金事務事業」においては約8.8億円/1システムの開発費用が発生している</p>						
事業概要 (5行程度以内)	令和3年1月より、利便性をより向上させたJGrants2.0の運用を開始しており、各府省庁や地方公共団体の利用者が増加しつつある。補助金申請手続は数多くの行政機関において広く実施されているため、①システムを安定的に稼働させるための運用保守、②利用者の利便性向上を目的とした機能開発等を実施する。また、行政内の審査手続きや事後の成果調査等についてもデジタル化を推進することで官民双方にとって手続負担軽減に繋がるため、申請で得られたデータの活用による効果的な政策立案や申請データのオープン化による事業者の信頼性評価・ビジネスマッチングなどにつなげていくことも目指す。さらに、誰にでも使いやすいUIや利用数増に対応できるアーキテクチャの構築によって、補助金ごとに異なる業務フローにより対処できるようになるため、事務コストやランニング費用の削減に繋がることを期待される。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
執行額(G)	-	432	881	-	-		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
					-		
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		補助金申請システムで申請できる補助金数の増加を目標に、事務局及び事業者の利便性や操作性向上のための改修及び開発を実施している。また、安定的な利用が出来るように運用及び保守等の業務も実施している。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		補助金申請プロセスの電子化	各年度毎の利用事業者の推移	活動実績	者	-	114,411	163,507	-	-
				当初見込み	者	-	50,000	160,000	180,000	220,000
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		jGrantsの利用事業者数を拡大するためには、まず利用補助金(jGrantsに掲載される補助金)数の拡大が必要となるため、短期アウトカムとして「利用補助金数の拡大」を設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		利用補助金数の拡大	利用補助金・助成金数	成果実績	補助金	-	422	786	-	
				目標値	補助金	-	400	700	1,100	
				達成度	%	-	105.5	112.3	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度 jGrantsシステムKPI分析 ・R4年度 jGrantsシステムKPI分析 ・補助金推移数予測 								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		-								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		-	-	成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		jGrantsの利用補助金数が増加すると、電子申請数が増え、ひいては利用事業者の拡大に繋がる。より事業者の申請手続きの簡便化及び事務局の業務効率化を寄与すると考えられることから、長期アウトカムとして「電子申請数の増加」を設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度	
		電子申請数の増加	各年度毎の電子申請数の推移を確認する	成果実績	件	-	196,986	431,633	-	
				目標値	件	-	100,000	430,000	580,000	
				達成度	%	-	197	100.4	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度 jGrantsシステムKPI分析 ・R4年度 jGrantsシステムKPI分析 ・補助金推移数予測 								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								



費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方で 実情が分かるように記載）	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	補助金申請システムの運用及び保守等業務	234.8	人件費	補助金申請システムの運用及び保守等業務	396.1
	計		234.8	計		396.1
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	補助金申請システムのプロジェクト管理等の技術支援	8.6	人件費	補助金申請システムのUI/UX改善支援	28.6
	計		8.6	計		28.6
	E.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	補助金システムの新しいUIのデザイン設計業務の一部委託	8.7	人件費	ユーザーインタビューのモデレート・分析	1.7	
計		8.7	計		1.7	
G.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
人件費	補助金申請システムの機能開発に係る調査研究	68.2	事業費	補助金申請システムの機能開発	144.1	
計		68.2	計		144.1	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	アクセンチュア株式会社	7010401001556	補助金申請システムの運用及び保守等業務	234.8	随意契約(その他)	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	アクセンチュア株式会社	7010401001556	補助金申請システムの運用及び保守等業務	396.1	一般競争契約(総合評価)	1	-	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社SHIFT	8010401073462	補助金申請システムのプロジェクト管理等の技術支援	8.6	一般競争契約(総合評価)	2	86.2%	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社SHIFT	8010401073462	補助金申請システムのUI/UX改善支援	28.6	一般競争契約(総合評価)	2	73.3%	

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社さうなし	3013201015853	補助金申請システムの新しいUIの設計	8.7	随意契約(その他)	-	-	

F.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	道具眼 個人A	-	ユーザーインタビューのモデレート・分析	1.7	随意契約(その他)	-	-	

G.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	アクセンチュア株式会社	7010401001556	補助金申請システムの機能開発等に係る調査研究	68.2	一般競争契約(総合評価)	2	75.8%	

H.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	アクセンチュア株式会社	7010401001556	補助金申請システムの機能開発	144.1	一般競争契約(総合評価)	1	36.6%	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック



	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社クラウドネ イティブ	5010401132196	プロジェクト管理ツールのラ イセンス費用	0.4	随意契約(少 額)	-	-	-